



# ドクター板東の メディカルリサーチ

～アスリート オリンピックへ 養成中～

Vol. 113

<http://pianomed-mr.jp/>



図1

一方、マイナースポーツの存在も貴重だ。筆者は長年にわたりアイススケートやINLINE HOCKEYに関わってきた。

日本体育協会（日体協）に対する準備など、我が国のスポーツ文化を長年育ててきた。その中でメジャーなものには、いま話題の桐生祥秀選手の陸上競技や、野球やソフトボール、サッカーなどが含まれる。

今年は、スケートの大会に加えて、日体協のオリンピックに対するプロジェクト

一トなどの話題について、触れてみたい。

## スケート大会

第62回全日本ローラースケートスピード選手権大会が江戸川区水辺のスポーツガーデンで開催された。主催は日本ローラースポーツ連盟（日ロ連）だ。長年本邦における競技力のアップや普及などを進めてきた組織である。

スポーツドクターの私は役員の一人として世話を

**特定非営利活動法人 日本ローラースポーツ連盟**  
JAPAN ROLLER SPORTS FEDERATION

INFORMATION SPEED FIGURE IN-LINE HOCKEY ROLLER HOCKEY

**TOPICS**

- 2015/4/18~19 第62回全日本ローラースピード選手権大会(兼:セブンズホッケー大会)が江戸川区水辺のスポーツガーデンで開催されます。(江戸川区水辺のスポーツガーデン)  
大会裏面へ FINISH The 62nd JAPAN NATIONAL CHAMPIONSHIPS NEW!
- 2015/5/28~29 第41回全国ローラースケーティング競技会が開催されます。(東京都練馬区立ローラースケート場)  
大会結果へ NEW!



私は、日口連の理事・指定期として今までずっと、皆勤で参加してきた。毎回、素晴らしいレクチャーを受講できるのが楽しみだ。オリンピックや国体・ドーピングなどスポーツに纏わる最新トピックスに触れ、とても意義深い。

まず、文部科学省や日本スポーツ振興センター、中央競技団体などの関係を図3に示した。この中に、日本オリンピック委員会も関与している(図4)。

今後は2020年の東京オリンピック開催に向けて、将来的な予定配置



図5

図を図5に示した。

実は、オリンピックに向けた活動も、実際には国体と関わっている。図6を見ると、開催県である長崎→和歌山→岩手→愛媛・福井→茨城・鹿児島・三重・栃木などと、ステップアップしていく。そして、東京オリンピック開催へつながるというワケだ。

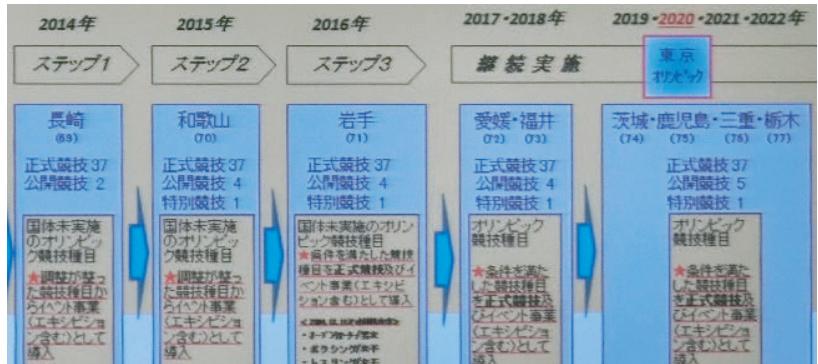
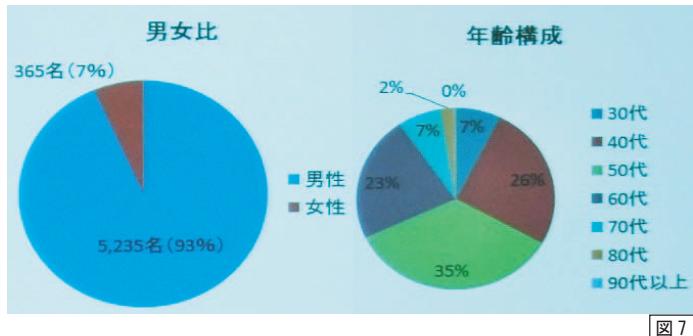


図6

## スポーツドクター



図を図7に示した。  
スポーツドクター登録状況を図7に示した。

誰もが希望すれば取得できるものではない。つまり、申請するまでに、都道府県や中央競技団体における様々な活動を通じて、信頼を得た医師が推薦を受けて受講資格が得られる。

日本体育協会、②日本医師会、③整形外科関連と3種がみられる。中でも、①は日本体育協会、②日本医師会、③整形外科関連と3種



以上のデータから、あまりにも女性が少ない現状が明らかに。そこで、今後の方向性として、女性アスリートのサポートのサポートのサポートとして、女性アスリートが求められてる。

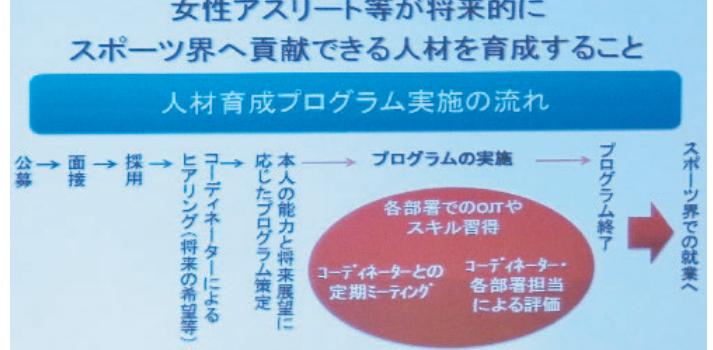


図8

## まとめ

今回紹介した日本体協の活動は、会報で発信されてきた(図9)。その中で、日本人のフェアアプレイ精神やスポーツ心理学に基づく指導法などが紹介されている。私は徳島県体育協会医科学委員およびスケート部門を担当しており、数年後に徳島から五輪選手の誕生を期待したいと思う。

クスとして「女性アスリートたちが将来的にスポーツ界へ貢献できるための人材育成」が挙げられる(図8)。